

南流山駅前広場 改修基本計画案に関する説明会

令和8年2月11日(水)
流山市まちづくり推進課

検討の背景

■検討背景

南流山駅は昭和48年に日本国有鉄道の武蔵野線として開業し、広場が整備されました。また、つくばエクスプレス開業時の平成17年に南口広場の改修が行われたものの、長い時間が経過しています。

南流山駅はJR武蔵野線とつくばエクスプレスが交差する交通結節点。駅の利用者数は増加傾向の一方で、駅前は訪れる人が少なく、通過が中心の空間になっています。こうした状況を踏まえ、流山市では、駅周辺の魅力や価値を高める取り組みを進めています。



南流山駅北口広場



南流山駅南口広場

検討の背景

■駅前広場に求められる機能

-交通機能-

- ①公共交通利用
- ②乗り換え
- ③送迎利用

-環境機能-

- ①待ち合わせ
- ②イベント
- ③日常の滞留・憩い

足りていない

⇒南流山駅では「都市の広場」としての役割が不足しています

上位計画の位置づけ

流山市総合計画(R2.3策定)

基本構想(計画期間:R2年度~)

基本計画(計画期間:R2~R11年度)

流山市全体

市政運営の
総合的な計画

流山市都市計画マスタープラン(R2.3策定)

まちづくりの方針

流山市立地適正化計画(H29.3策定)

流山市景観計画
(R4.4改定)

流山市みどりの基本計画
(R2.3改定)

景観・緑の方針

流山市グリーンチェーン戦略
(H18策定)

景観・緑の基準

南流山駅周辺地区 まちなみづくり指針(R6.2)

南流山地区

上位計画を踏まえた
具体的なまちなみ
づくりの指針

南流山駅前広場改修基本計画

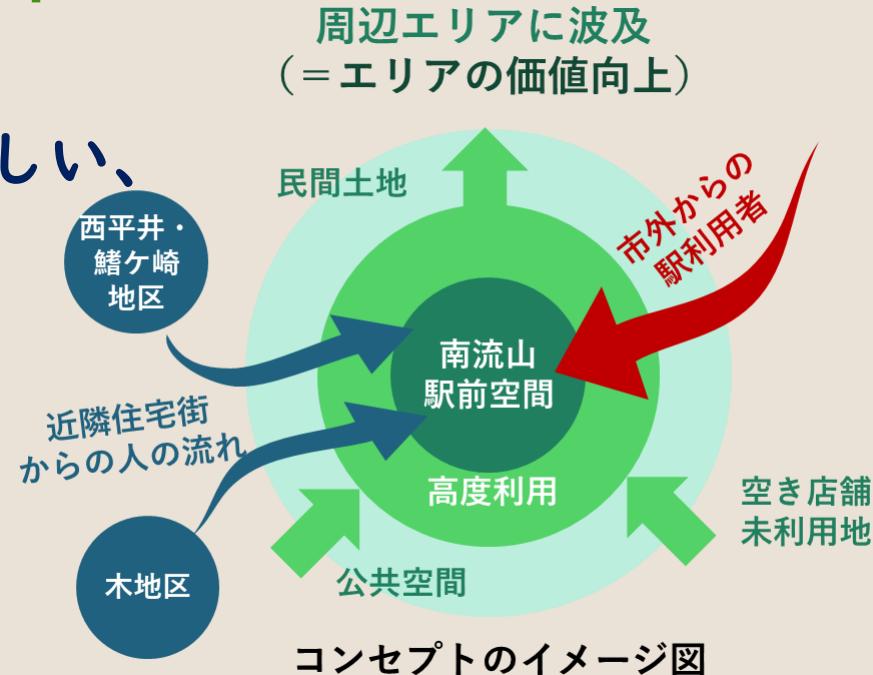
駅前広場の
高質化検討

空間形成のコンセプト(まちなみづくり指針より)

■まちなみ指針が示すコンセプト

○多くの人が集まるまちにふさわしい、
たくさんの魅力がつながるまち

○「住みたい・来たい」を
創り出す、快適な都市環境



駅前広場は、このコンセプトに基づき、単なる通過空間ではなく、滞留や交流を促す場とし、交通機能と滞留機能を両立させることで、過ごしたくなるような、地域に開けた駅前空間を目指します。

駅前広場の方向性

■ 交通機能と滞留機能を両立させる駅前広場を目指します

.....→ 人流(人の流れ)

* * 駅出口
(赤:JR青:TX)

南口広場：
滞留機能+賑わいの
核となるイベント活用



北口広場：
交通機能の集約

これらは『まちなみづくり指針』に示された考え方の一例であり、
本日の説明会で皆様のご意見を伺い、実現可能性を具体化していきます。

基本計画策定の流れ

南流山駅周辺地区まちなみづくり指針

(南流山駅周辺の課題・まちづくりの方向性の確認)

駅前広場の交通実態の確認

(交通量調査の実施・整理)

利用者へのヒアリング

(交通事業者、イベント実施団体等)

駅前広場の課題抽出

将来ビジョン・基本方針の整理

将来整備イメージの作成

駅前広場の利用実態

■利用実態調査

①交通動態調査

- ・自家用車で送迎する車が多いことから、ピーク時間帯における送迎車両の停車位置、停車時間を把握しました。

②駅前広場利用者ヒアリング調査

- ・駅前広場でイベントを実施する利用者に対して、ヒアリング調査を実施しました。

③交通事業者ヒアリング調査

- ・駅前広場で運行する事業者(バス事業者、タクシー事業者、送迎バス)に対して、ヒアリング調査を実施しました。

①交通動態調査

■概要

令和6年度に行った交通量調査結果をもとに、平日の朝ピークおよび夕ピークにおいて、送迎車両の停車位置・停車時間を把握しました。

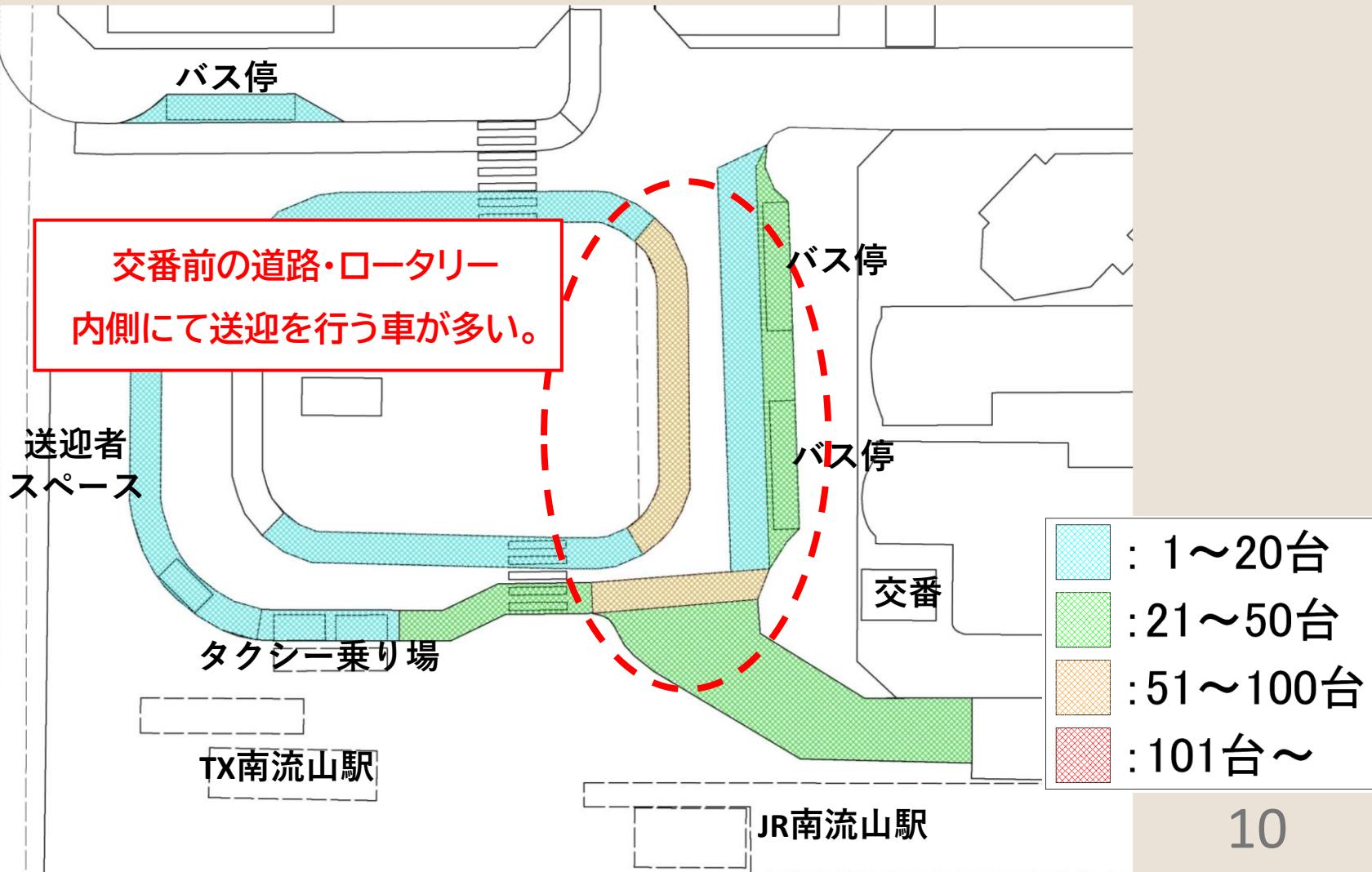
南流山駅南口広場▶



①交通動態調査

■北口 朝ピーク (7:00~8:00)

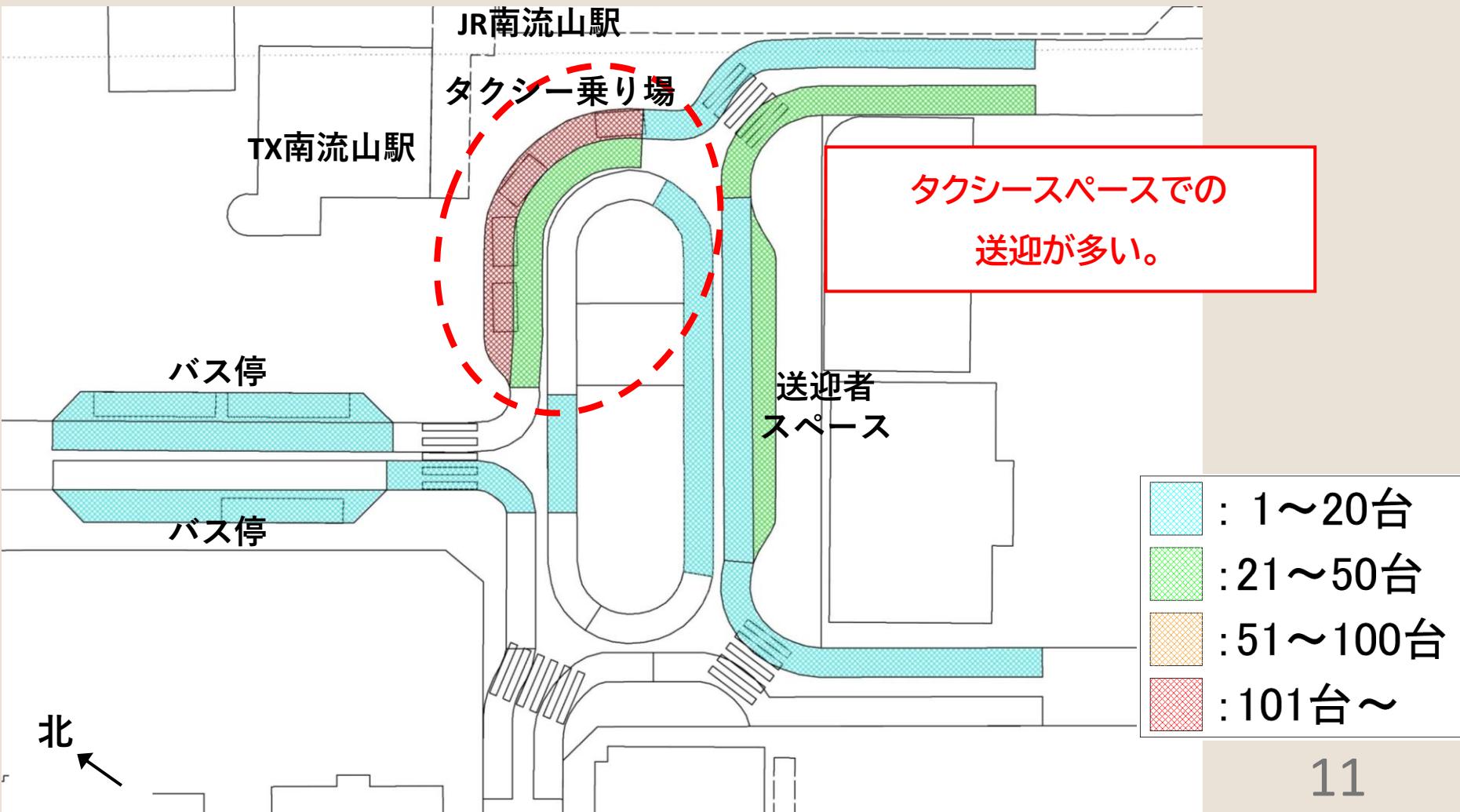
一般車合計台数：245台（1台当たりの平均停車時間：1分18秒）



①交通動態調査

■南口 朝ピーク (7:00~8:00)

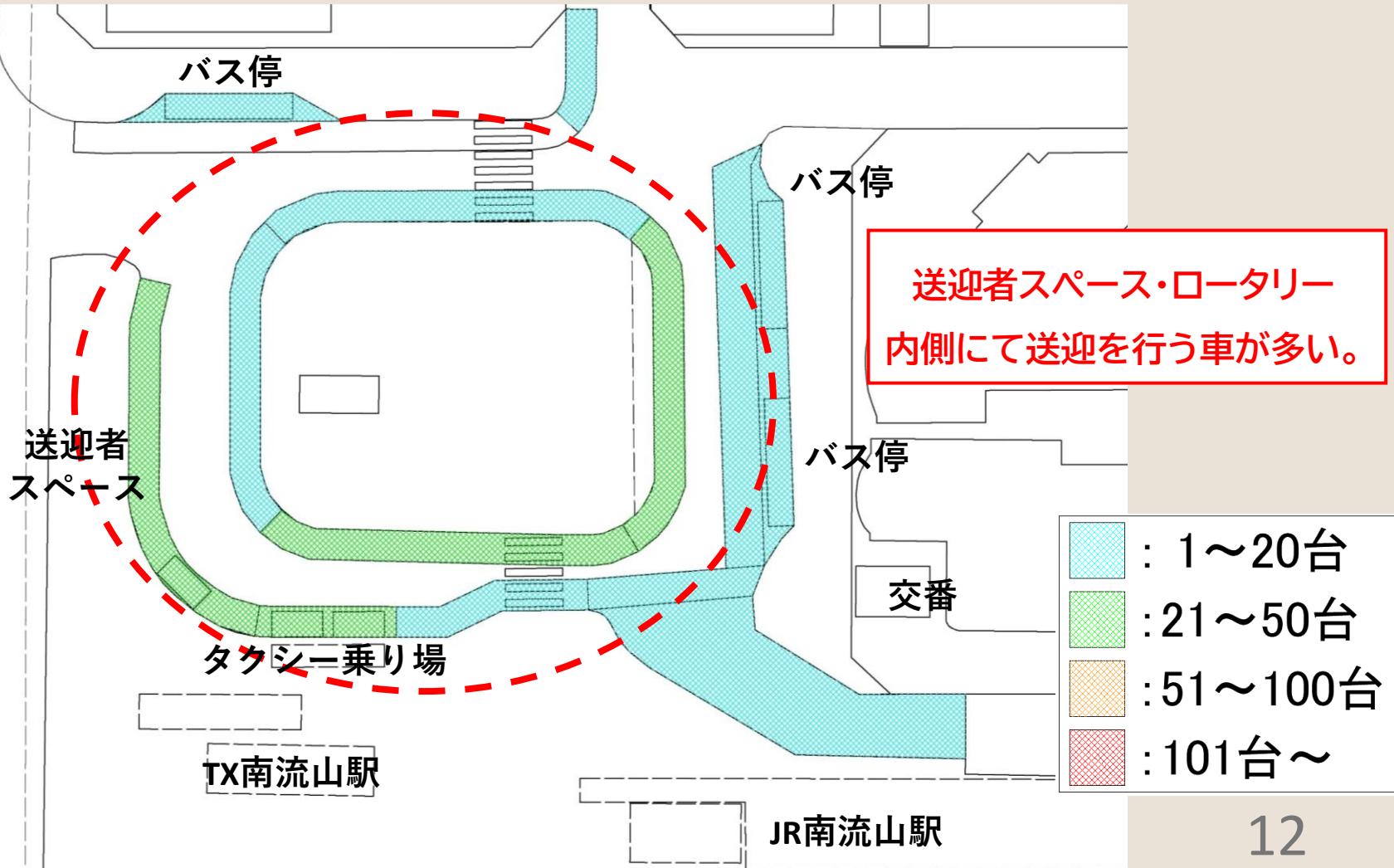
一般車合計台数：262台（1台当たりの平均停車時間：43秒）



①交通動態調査

■北口 タピーケ (19:00~20:00)

一般車合計台数：132台（1台当たりの平均停車時間：3分50秒）

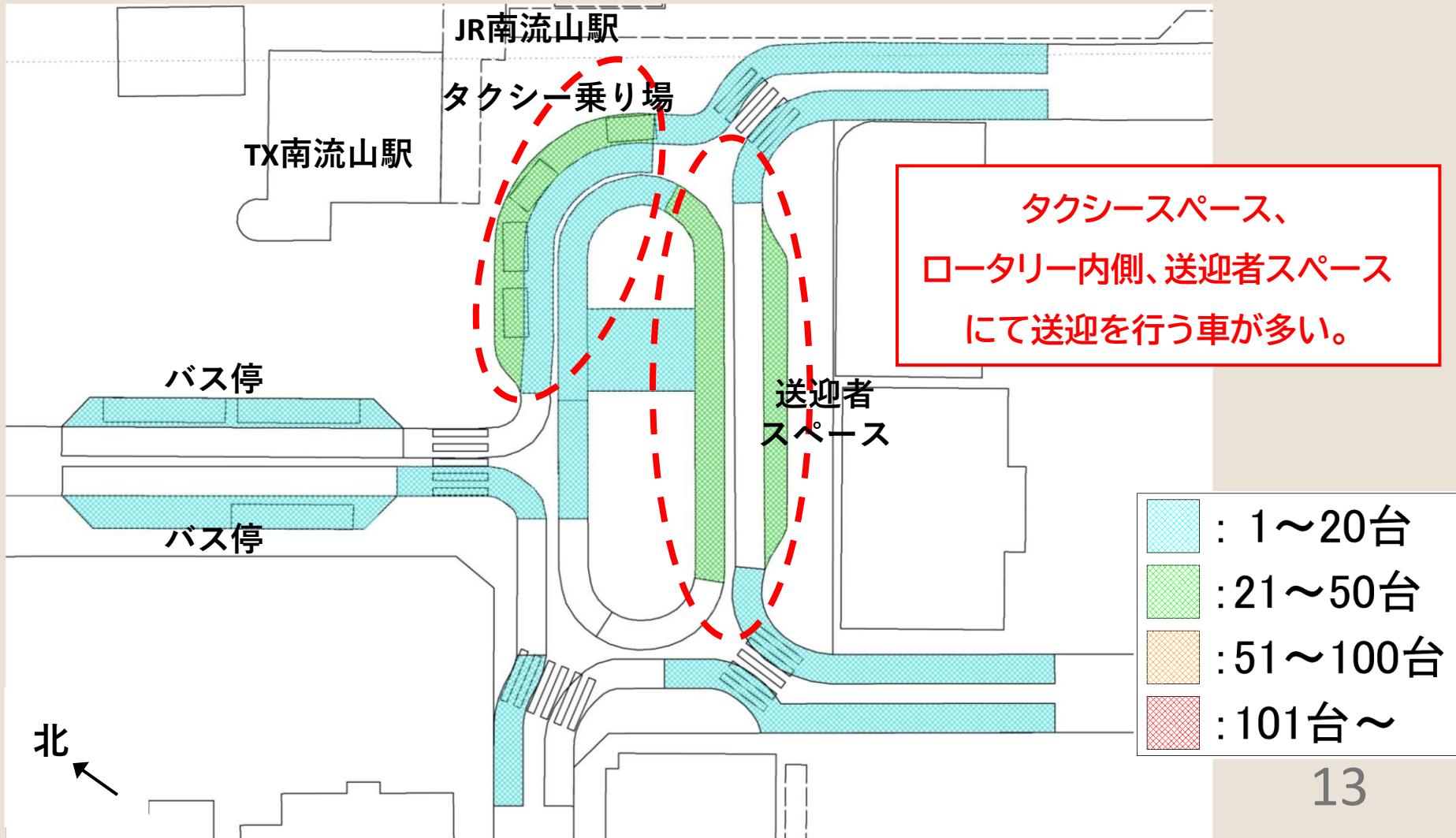


北

①交通動態調査

■南口 タピーケ (19:00~20:00)

一般車合計台数：108台(1台当たりの平均停車時間3分57秒)



②駅前広場利用者ヒアリング調査

■概要

駅前広場でイベント等を実施する団体に対して、ヒアリング調査を実施しました。

■内容

- ・ 現在の広場利用状況
- ・ イベント開催時の課題
- ・ 空間の再編成に関する意見など

■対象者

駅前広場にてイベントを実施する4団体



イベント開催時の様子

②駅前広場利用者ヒアリング調査

■イベント利用者・団体

① 現在の広場利用状況について

- ・ 南口広場において、定期的にイベントやマルシェを実施

② イベント開催時の課題

- ・ 乗り換え中心の動線のため広場に滞留が生まれにくい状況
- ・ ステージがあるのは良いが形狀が悪く十分に活用できない
- ・ 広場と道路の位置関係から出店レイアウトや
人の動線づくりが難しい



②駅前広場利用者ヒアリング調査

■イベント利用者・団体

③空間の再編成に関する意見

- ・広場をもっと広くして、イベント等がしやすく再設計して欲しい。
- ・ベンチ配置や車両動線を見直し、歩行者空間を拡張して欲しい。

④広場運営に関する意見

- ・利用ルールが分かりにくい。

⑤広場の将来的な活用イメージ

- ・流山の南の玄関口にふさわしいデザインにしてほしい。
- ・カフェ、本屋、子どもの遊び場、シンボルツリーなど、滞留を促す機能が欲しい。

など

③交通事業者等ヒアリング調査

■概要

駅前広場を利用している交通事業者等へのヒアリングを実施しました

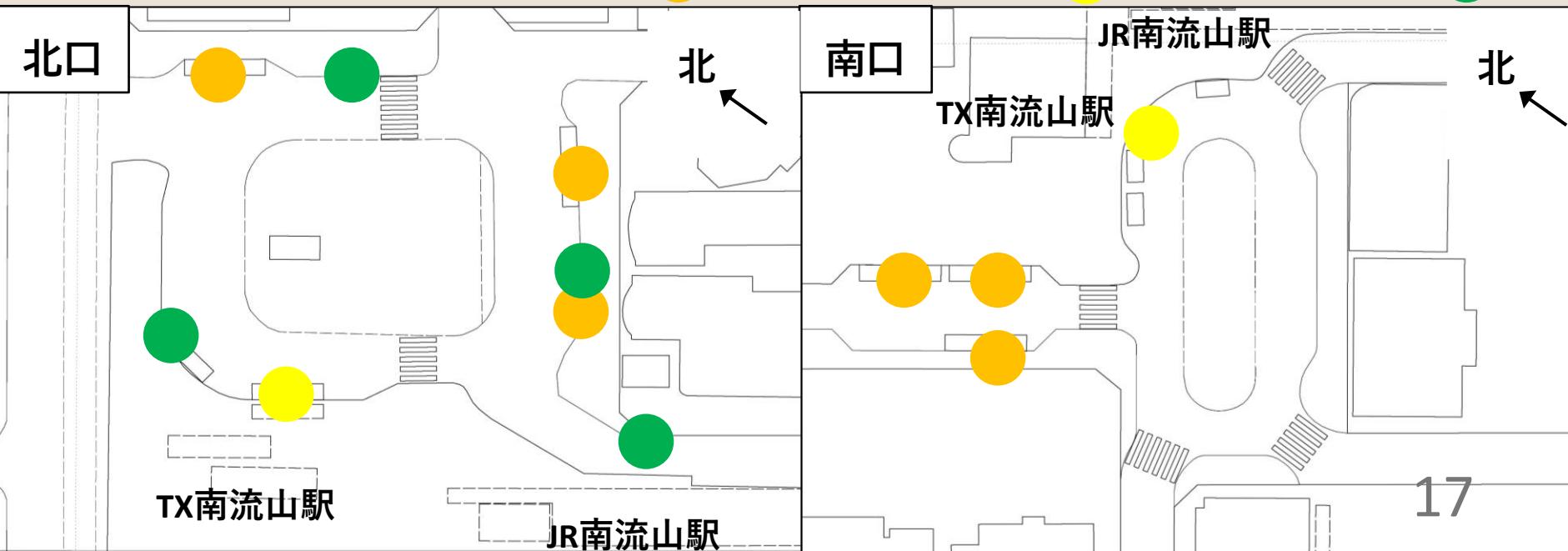
■内容

利用状況について、空間の再編成について、駅前広場で改善して欲しい事項など

■対象事業者

バス事業者(4社)、タクシー事業者(4社)、企業送迎バス(4社)

事業者停車位置図(バス事業者: ● タクシー事業者: ● 企業送迎バス: ●)



③交通事業者等ヒアリング調査

■交通事業者等からの主な意見

【北口】

- ・通勤通学時等の混雑時に歩行者と車両の動線が交錯しやすい状況。
- ・交通機能を集約するのであれば北口が望ましいが、利用者の混乱が懸念。

【南口】

- ・タクシー停車場など駅に近いスペースに送迎車両の一時停車が集中し、滞留が発生しやすい。
- ・南口のロータリーは大型車両が入れない。

駅前広場における交通処理と安全確保が
共通の課題として認識されていることが確認

駅前広場の利用実態(まとめ)

■駅前広場の利用実態(まとめ)

-
- 交通事業者
等の声-
- ・交錯が危険
 - ・送迎車両が集中
 - ・一定の集約は可能

- 利用者の声-
- ・広いスペース
 - ・屋根、ベンチ
 - ・安全な空間
 - ・管理ルール

⇒安全性と使いやすさの両立が必要

駅前広場の役割整理

北口駅前広場

- ・円滑な交通処理
- ・乗り換え
- ・送迎



交通機能の充実

南口駅前広場

- ・滞留
- ・待ち合わせ
- ・イベント
- ・日常利用



環境機能の充実

南流山駅前広場の将来像

南流山駅前広場の将来像

人が集まり、楽しめる。

南の玄関口にふさわしい「駅前の緑豊かで快適な都市空間」をつくる。

完成イメージ図



南流山駅前広場の基本方針

方針1：円滑に行き交え、安全に利用できる駅前空間

- ・歩行者と車両の交錯ができる限り減らし、安全性を高めます。

方針2：日常的に訪れたくなる居場所

- ・ベンチや緑陰など、滞在しやすい環境を整えます。
- ・イベント時にも無理なく対応できる柔軟な空間構成とします。

方針3：使いながら育てていく広場

- ・利用ルールや管理運営組織の構築を検討します。
- ・周辺住民への配慮を図り、持続可能な運営方法を検討します。

駅前広場整備を考える上で重要なポイント[北口]

方針Ⅰ:円滑に行き交え、安全に利用できる駅前空間



■北口広場は交通処理方法を再構築します。

- ①交通機能の「急な(拙速な)集約」は、利用者の混乱や事業者の運行に支障をきたす恐れがあることに注意します。
- ②安全性の確保を最優先とし、動線を見直します。歩行者と車両の交錯を減らします。また、事業用車と送迎者の動線を分離します。
- ③利便性を損なわないようにします。送迎やタクシー利用者にとって使いやすい空間を維持する必要があります。
- ④安全性を高めるため、交通島を送迎スペースとして適切に活用します。

駅前広場整備を考える上で重要なポイント[南口]

方針2：日常的に訪れたくなる居場所

方針3：使いながら育てていく広場



■南口広場は、「通過が中心の空間」から、
「日常の中で心地よく使える空間」へと段階的に育てていきます。

- ① だれもが気軽に立ち寄れる、居心地の良いスペースを整備します。
- ② 緑やベンチなど、日常的に滞留しやすい環境をつくります。
- ③ “過度な集客”ではなく、日常的に心地よく過ごせるにぎわいを
目指します。
- ④ にぎわいを育てる仕組みづくりや運用ルールの整理を進めます。
- ⑤ イベント利用者にとって使いやすい空間となるよう、
歩行者空間の拡張やイベントスペースなどの工夫を取り入れます。24

南口の にぎわいづくりについて

■ゾーニング

①グリーンゾーン

- ・隣地や道路空間との境界となり、駅前広場の輪郭をつくる緩衝空間。
- ・現在の植栽を活かしながら、中高木からなる緑陰空間を広げます。

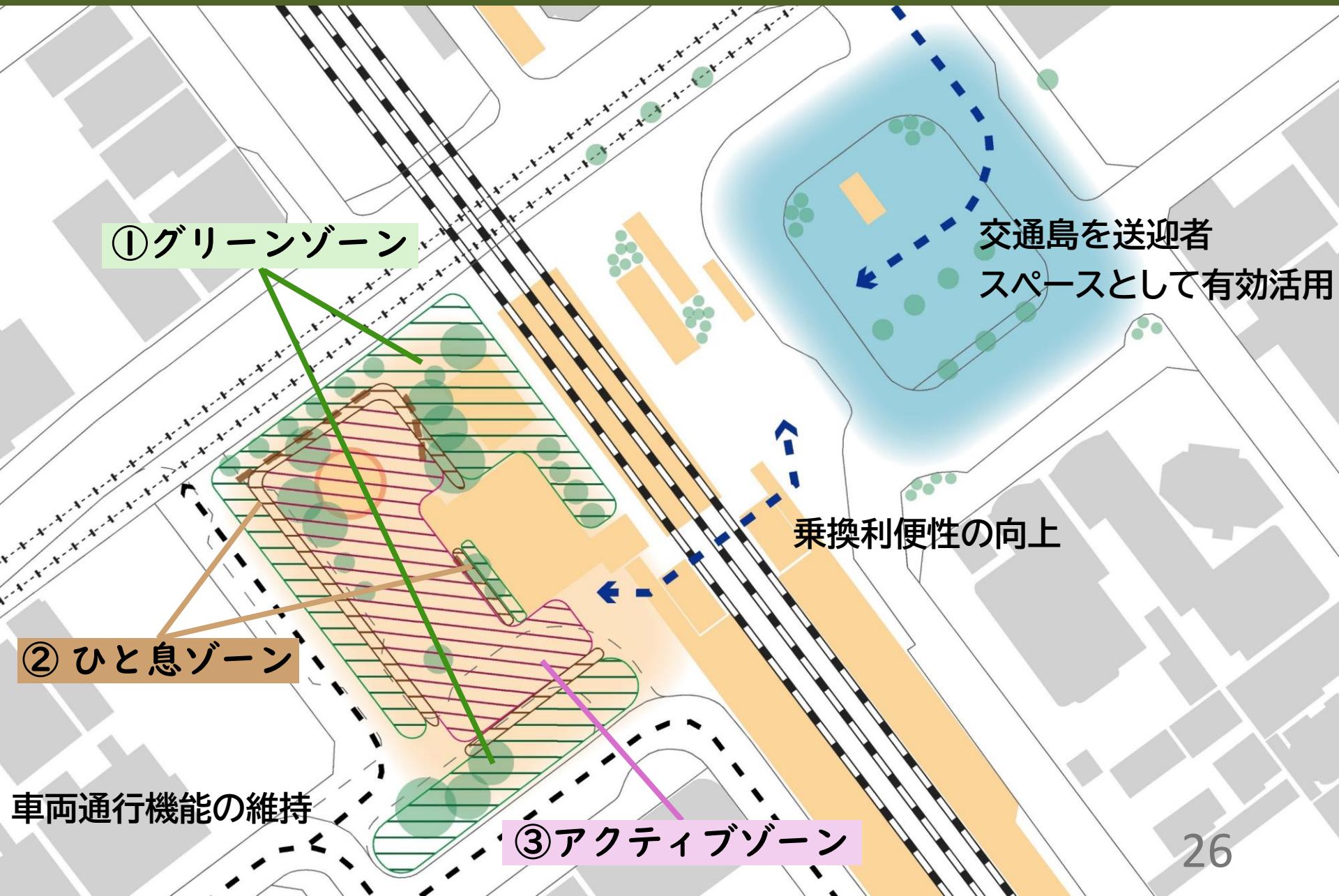
②ひと息ゾーン

- ・日常的に利用しやすく、木陰でひと休みしたくなる空間。
- ・イベント時にも来訪者が座る場所として機能します。

③アクティブラウンジ

- ・イベント開催時のステージやキッチンカーが展開できる空間。
- ・既存のステージを活かし、イベント時の拠点として活用します。

整備案のイメージ



[参考]整備事例

■流山おおたかの森駅西口



一般車とバスの導線を分離している事例

今後のスケジュール

■今後のスケジュール(予定)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| R8.2
(約1ヶ月間) | 住民説明会を実施
意見募集を実施 |
| R8.3 | 改修整備案の検討・策定 |
| R8・9年度 | 基本設計・実施設計 |
| R10・11年度 | 駅前広場改修整備工事 |



意見募集

本日説明した内容については市HPにて、公開いたします。

また、ご意見などがある方は、QRコードや流山市HPの南流山駅前広場改修基本計画のページから提出できるほか、

意見箱と意見書を説明会後から1か月間
「市役所まちづくり推進課」

「南流山センター」

「サンコートクノプラザ」

に設置しておりますのでご利用ください。



ご清聴ありがとうございました。